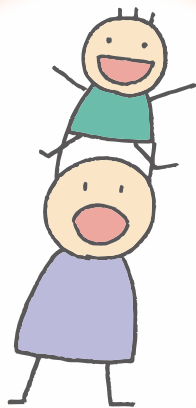
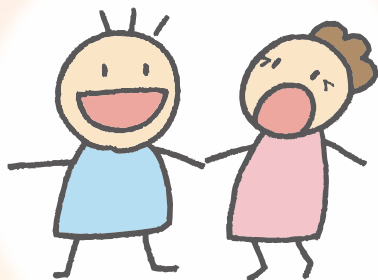


緩和ケアを 知っていますか



臼杵市医師会立コスモス病院

緩和ケアとは

人は生きていく中で大きな病気にかかることがあります。一生付き合っていかなければならない病気や生命に関わるもの、家族や周りの人と協力していかなければならないものがあります。

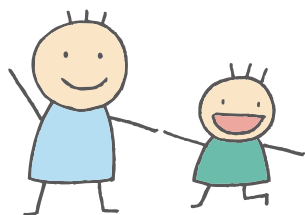
その中のひとつががんです。あなたががんと診断されたとき、大きな不安を抱えるかも知れません。また、治療の継続中にはたくさんの生活上の心配や困りごとが起きるかも知れません。

たとえば、身体の様々な症状に対する不安、検査を受けるときや入院するときの決心、治療を受けている間の治療方法や治療場所を選択するときの決断などです。また、家族のことや生活のこと、仕事のこと、経済的なことなども考えられます。

コスモス病院には、がんの患者さんご家族を支援する「緩和ケアチーム」があります。

ケアという言葉は「世話」という意味で、その語源は「他者を気遣う」ことからきています。現在の「緩和ケア」は病気の早い段階から開始されます。

「緩和ケアチーム」はあなたのためのチームです。あなたの今の状況、あなたがどのようにしたいかをいちばん大切に考えるチームです。



どんなときに利用できるの

コスモス病院はがん診療拠点病院の協力病院の指定を受けています。また、地域医療支援病院でもあります。

患者さんの治療場所や病気の時期、患者さんご家族を問わず相談利用ができます。臼杵市における医療資源に対するご相談など、さまざまな悩みに対応できるよう準備しています。

例えば…

- ・ 治療や治療計画についての相談
- ・ 出現している身体症状の緩和
- ・ 本人や家族の気分の落ち込みイライラなど
様々な不安への対応
- ・ 薬についての疑問や不安や飲み方など
使用方法の工夫について
- ・ 食事についての困りごと
- ・ 治療費の相談
- ・ 日常生活のアドバイス



「自分らしく生きたい」「どうしていいかわからない」「誰かにこの気持ちを聞いてもらいたい」「同じ境遇の人と話したい」そのようなお気持ちになったときでも大丈夫です。また、がん患者さんご家族の交流会も行っています。

緩和ケアチームには様々な専門職

それぞれの職種が専門的知識経験を生かし、患者さんご家族のさまざまな悩みに対して4つの側面から支援を行います。

- 1 体の様々な症状に対するケア
- 2 患者さんの心のケア
- 3 患者さんご家族の生活に対する支援
- 4 患者さんを支える家族のケア

医師の役割

適切な病気の診断・評価を行い、病変そのものの積極的な治療から、治療に伴う心身の不快な症状の予防と緩和を行います。

看護師の役割

プライマリーナース(患者さん担当の看護師)を中心に患者さん、ご家族の身体的な不快症状の緩和と日常生活、精神的サポートなど総合的なケアを行います。また地域を含めた、他の専門職との連携を図りながら、チーム医療で支援できるようまとめ役を担います。

薬剤師の役割

患者さんが安心して薬剤を使用できるように、患者さんご家族の方にパンフレットなどを用いて薬剤指導を行います。服用開始後は、効果、副作用などの確認をし、患者さんに合わせた薬剤の使用法と一緒に考えます。またさまざまな症状緩和に関する薬剤の検討や飲み合わせなどを確認し、その患者さんにとって安全な薬剤使用を考慮します。

載がいます

リハビリテーション専門職の役割

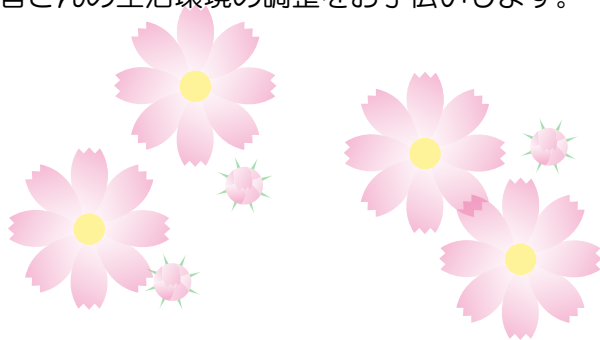
治療回復期においては、その治療を阻害せず合併症および廃用を予防するとともに、残存能力の維持向上を目標とします。緩和期においては特に患者さんの思いを尊重し、症状緩和や環境調整に努め、患者さんの生きがいを援助します。

栄養士の役割

治療に伴い起こる食欲不振、食事量、形態の変化に対して、その状態に応じた食事提供およびアドバイスを行います。患者さんの食べる楽しみを維持できるようお手伝いします。低栄養となるなど必要な時期には栄養補助食品などの紹介も行います。

医療ソーシャルワーカーの役割

患者さんをご家族の経済的問題や心理社会的問題を解決するために、ご本人の意思決定を尊重しながら相談支援を行います。また、がん診療連携拠点病院との入院・外来の調整を円滑に行い、ケアマネージャーや訪問看護などの他職種との連携を図りながら、在宅で過ごされる患者さんの生活環境の調整をお手伝いします。



地域医療福祉連携室が 相談の窓口です



電話

0972-62-5883



臼杵市におけるがん患者さんのお役に立つよう相談窓口を一本化しました。コスモス病院の地域医療福祉連携室の医療ソーシャルワーカーがお引き受けしています。

- 患者さんやご家族の相談の窓口ですので相談内容の聞き取りをいたします。

お返事が必要な場合にはお名前や連絡先などをお聞きする場合があります。聞き取りをしたうえで専門分野につきましては、「緩和ケアチーム」より、改めてお返事いたしますのでご了承ください。お電話やFAXでのお返事の場合や直接面接という相談の方法があります。

- がん治療は患者さんのためには長期的視野に立ったほうが良いと言われています。

がん診療連携拠点病院で積極的治療を受けている方でも、在宅ではかかりつけ医を持っておくほうが安心です。さらにコスモス病院といった協力病院が継続的治療や緊急時の受け入れの役割を担います。3つの病院の医師が繋がっていることで患者さんの安心・安全を高めます。地域医療福祉連携室はそのお手伝いをします。

あなたを支える医療機関や専門職



できるだけ早い時点で、協力して支援してくれる専門職を見つけましょう。
きっと力になってくれます。

	病院名	担当科・担当医師名	連携担当者(所属)	連絡先()
がん診療拠点病院				

病棟・外来・連携室と必要な場合はすべてご記入ください。

協力病院	白杵市医師会立 コスモス病院			
------	-------------------	--	--	--

病棟・外来・連携室と必要な場合はすべてご記入ください。

かかりつけ医				
--------	--	--	--	--

歯科診療所				
-------	--	--	--	--

訪問看護ステーション				
------------	--	--	--	--

居宅介護支援事業所				
-----------	--	--	--	--

コーディネーターの役割を担う者 _____

平成24年度
在宅医療連携拠点事業



プロジェクトZが製作しました